

築地まちづくりの大きな視点のポイント

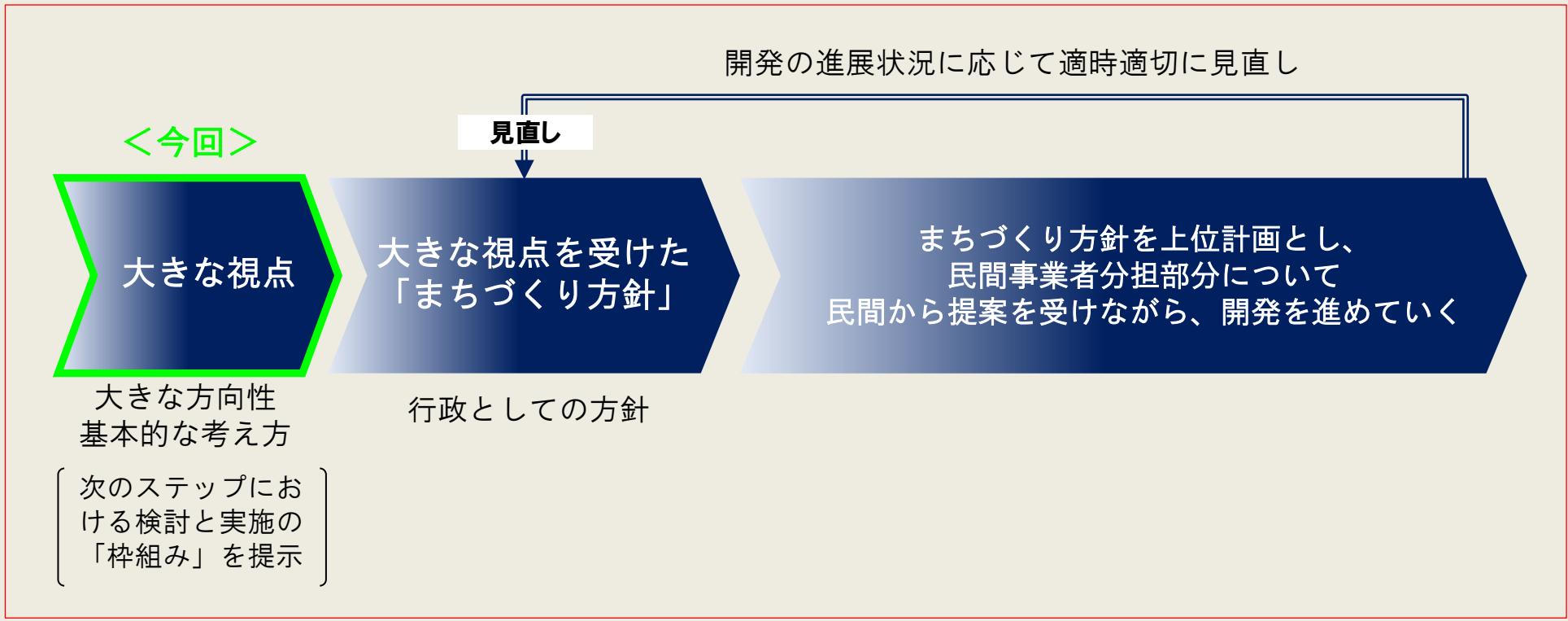
※ 赤字は前回からの修正点を示す

はじめに

○検討会議の役割

- ・ 長期的時間軸に立った築地再開発の今後の検討と実施の「枠組み」を提供すること (P2)

○具体化に向けての流れ (P3)



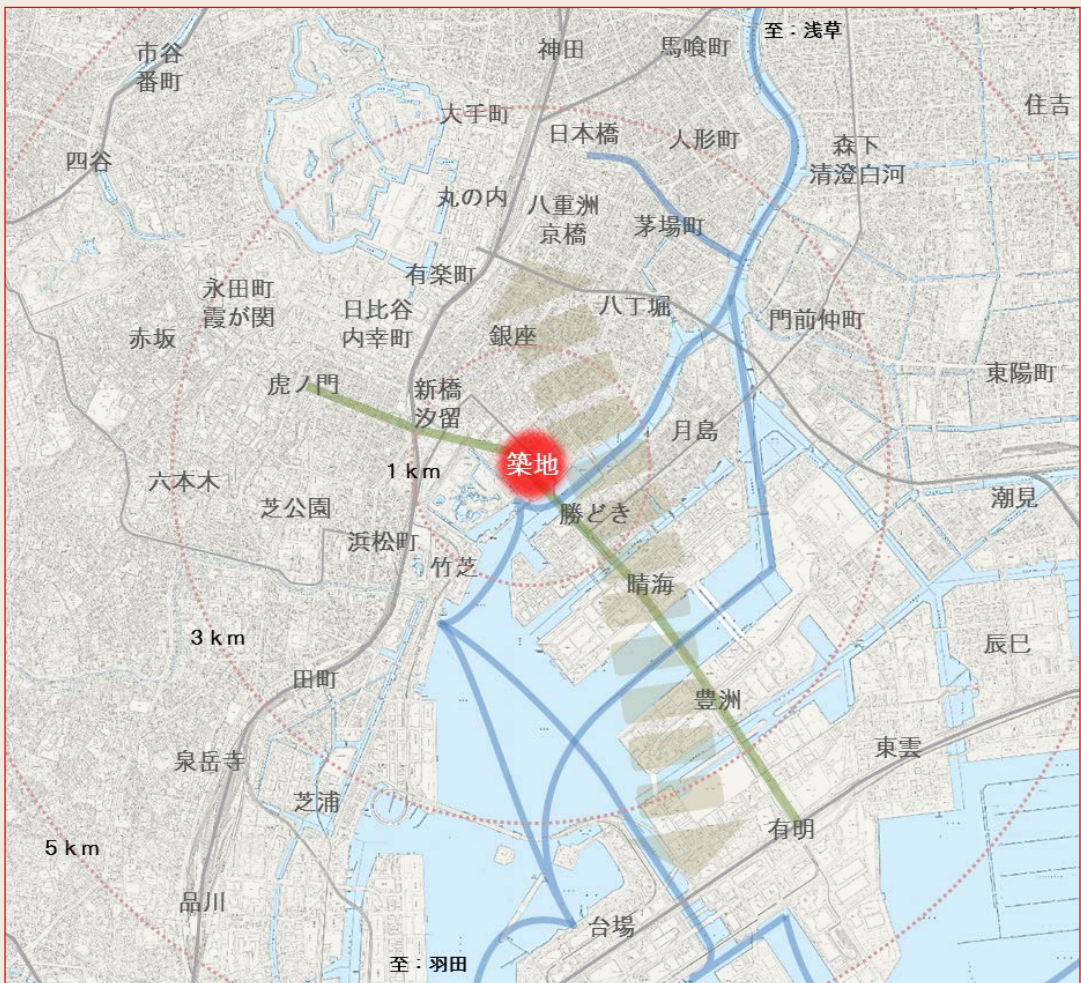
1 立地条件の最大限活用





～ 戦略的に交通結節点を形成 ～

○交通結節点を戦略的に形成すべき (P6)

- ・ 舟運、地下鉄など広域性の高い交通インフラから構成

○築地地区の立地 (P7)



	...	水上バス
	...	環状第2号線 (部分)
	...	主な鉄道
	...	都心部・臨海地域地下鉄構想

2 時間軸を見据えた周辺との有機的つながり強化

～ 段階的整備と広域的な価値の向上 ～

○都心の大規模な敷地で、都民の貴重な財産である。
より価値を高めるため、周辺の様々な資源とのつながりを重視すべき (P8,10)

- ・ 楽しく歩ける歩行者のネットワークを形成し、広域的な回遊性を高めていくこと
- ・ **とりわけ** 浜離宮との連続性を生かしていくこと

○インフラの検討・整備の状況も勘案しながら、段階的開発により価値の最大化を図るべき (P10)

3 地域のブランド価値の再構築

～ 交流拠点の形成と新たな価値の創出 ～

○周辺の観光資源と連携し、新たな築地ブランドを創造しながら、人々が集う交流拠点を形成すべき (P12)

○日本人の伝統的食生活・習慣の中核に根差す世界にも知られたブランドを、先端技術も活用し、後世に伝える工夫をすべき (P12)

○潜在的ブランドを顕在化させる努力も行いながら、将来の都民にとっての新たな価値を創出すべき (P12)

4 新たな築地が持つべき機能と空間のあり方

～ 大規模な敷地特性に応じ**戦略的に**機能を導入 ～

○大規模な敷地特性に応じて、**戦略的に**機能を導入する (P15)

- ・「東京**及び日本全体**にとって重要な役割を担うこと」
「**環境技術など新技術の展開を見据えること**」
「**経済合理性を意識しながら東京に不足しているものを補うなど
東京の競争力の向上に資すること**」 などの視点を重視

○将来のニーズ喚起などのための余力を持たせるスペースとして、**戦略的に確保しておくことが重要であり、効果的な利用を行なえるよう適切にマネジメントすべき。** (P15)

○東京の競争力を高めていくため、良質な公園や広場などを適切に確保すること (P15)

○23haの内の地域特性に応じた空間イメージの基本的考え方を提示 (P16)

5 ガバナンス体制の構築

～ ガイドラインに基づく中長期的開発のマネジメント ～

○一定の経済合理性を確保しながら、総合的に価値の最大化を図ること (P18)

○一貫した方針に基づき、中長期的開発のマネジメントを行っていくこと (P18)

○ガバナンス組織の設置についても検討すべき (P18)